

ALPS 処理水希釈放出設備 現地確認結果 報告書(概要)

確認年月日	令和5年6月29日(木)	確認目的	使用前検査の状況確認	
確認箇所	免震重要棟、5・6号機敷地護岸ヤード			
確認設備	<input type="checkbox"/> 測定・確認用設備	<input checked="" type="checkbox"/> 移送設備	<input checked="" type="checkbox"/> 希釈設備 <input type="checkbox"/> その他	
確認結果	<p>ALPS 処理水希釈放出設備及び関連施設のうち移送設備（処理水移送ポンプA・B、移送設備主配管）及び希釈設備（海水移送ポンプ、希釈設備主配管）について、東京電力が原子力規制庁による使用前検査（通水・流量検査）を受検していることから、その状況を確認した。</p> <p>【移送設備（処理水移送ポンプA・B、移送設備主配管）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 検査は、処理水移送ポンプを起動し、流量調整弁を動作させ、処理水の代わりにろ過水を通水させ、設定流量値で制御ができていることを確認した。 ・ 設定流量は移送される処理水のトリチウム濃度により異なり、A系・B系、各2パターンのトリチウム分析値を想定した流量値にて、検査が行われた。 ・ 設定流量値に到達後、流量値が安定してから通水を継続させて、移送流量値のデータ取りを行い、移送流量値の上限値と下限値が、基準値内であることを確認した。 <p>【希釈設備（海水移送ポンプA・B・C、希釈設備主配管）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 海水移送ポンプで行われた検査では、海水移送ポンプA・B・Cを1台ずつ起動させ、海水が通水できていること、またポンプについては、異音、異臭、異常振動等がないことを確認した。（写真2） ・ 上流水槽で行われた検査では、海水移送ポンプの起動・停止に応じて、海水が移送・停止されることを確認した。（写真3） 			
				
	(写真1) 聴診棒を用いて、海水移送ポンプの異音等の確認をしている様子		(写真2-1) 上流水槽における検査状況の様子	
		(写真2-2) 海水が上流水槽へ移送されている状況を確認している様子		